

2025年5月期 第2四半期(中間期)決算説明

2024年12月26日

 **三井物産株式会社**

MITACHI CO.,LTD.

東証スタンダード・名証プレミア
3321

2025年5月期 第2四半期 (中間期) 決算概要

●売上高

前年同期比で増収

- ・自動車関連分野は販売商流の移管などもあり増収
- ・産業機器分野、民生分野は顧客の生産回復もあり増収
- ・アミューズメント分野は顧客の在庫調整等もあり減収

●営業利益・経常利益・中間純利益

前年同期比で営業利益、中間純利益は増益

- ・商流移管による売上総利益と人件費や物流費等の増加
- ・為替影響及びコミットメントラインなどの契約に伴う営業外費用の発生

●株主還元

・年間配当金は1株につき50円

(中間配当金25円、期末配当金25円※)

※期末配当金は2025年8月開催予定の第49期定時株主総会の決議を経て決定をする予定です

2 2025年5月期 第2四半期(中間期) 決算概要①

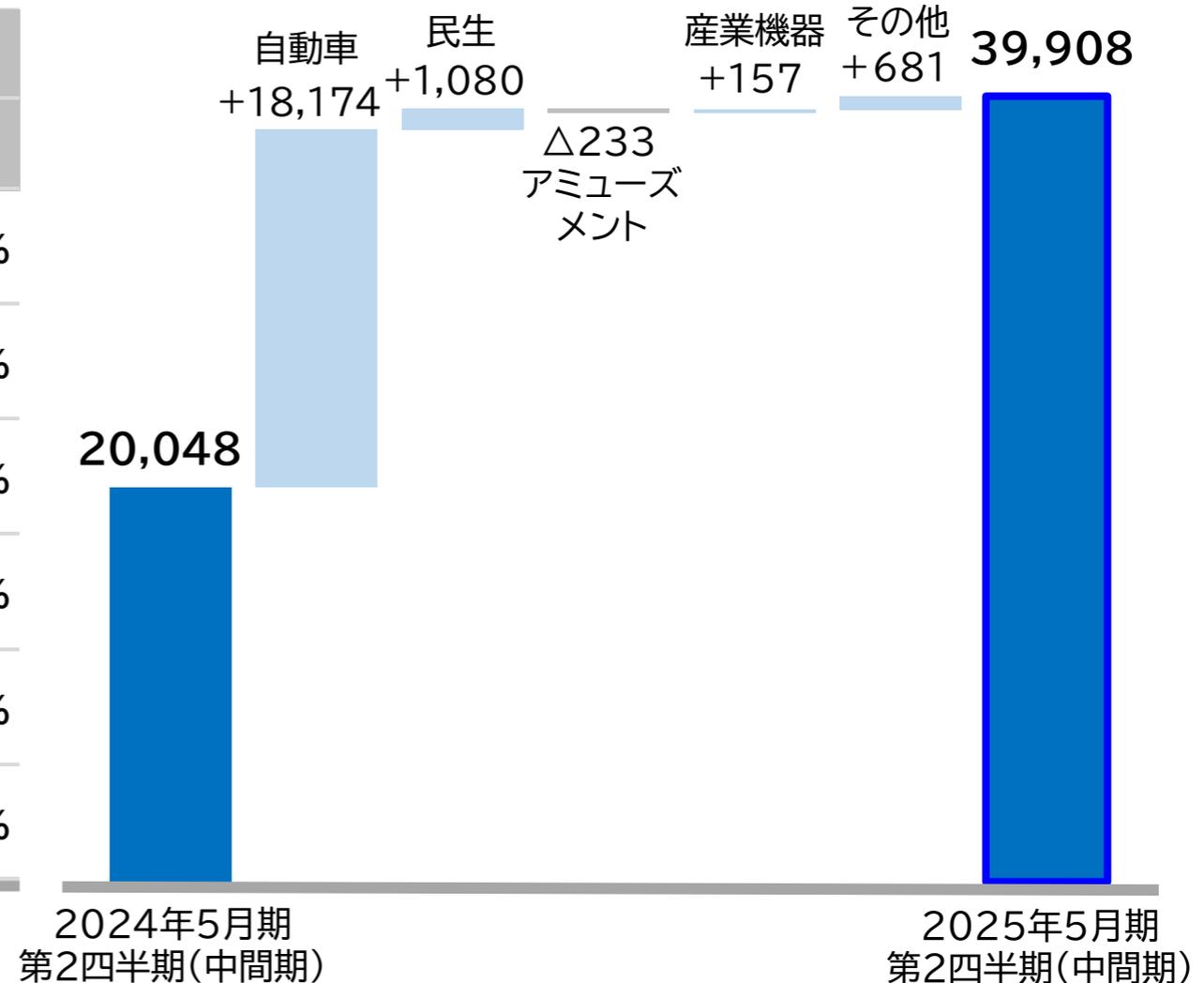
決算概要

(単位:百万円)

	2024年5月期 第2四半期(中間期)		2025年5月期 第2四半期(中間期)		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	比率
売上高	20,048	-	39,908	-	+19,860	+99.1%
売上総利益	2,289	11.4%	2,471	6.2%	+181	+7.9%
販売費及び 一般管理費	1,353	6.8%	1,523	3.8%	+170	+12.6%
営業利益	935	4.7%	947	2.4%	+11	+1.3%
経常利益	1,024	5.1%	1,004	2.5%	△ 20	△2.0%
親会社株主に帰属する 中間純利益	705	3.5%	718	1.8%	+12	+1.8%

売上高

(単位:百万円)

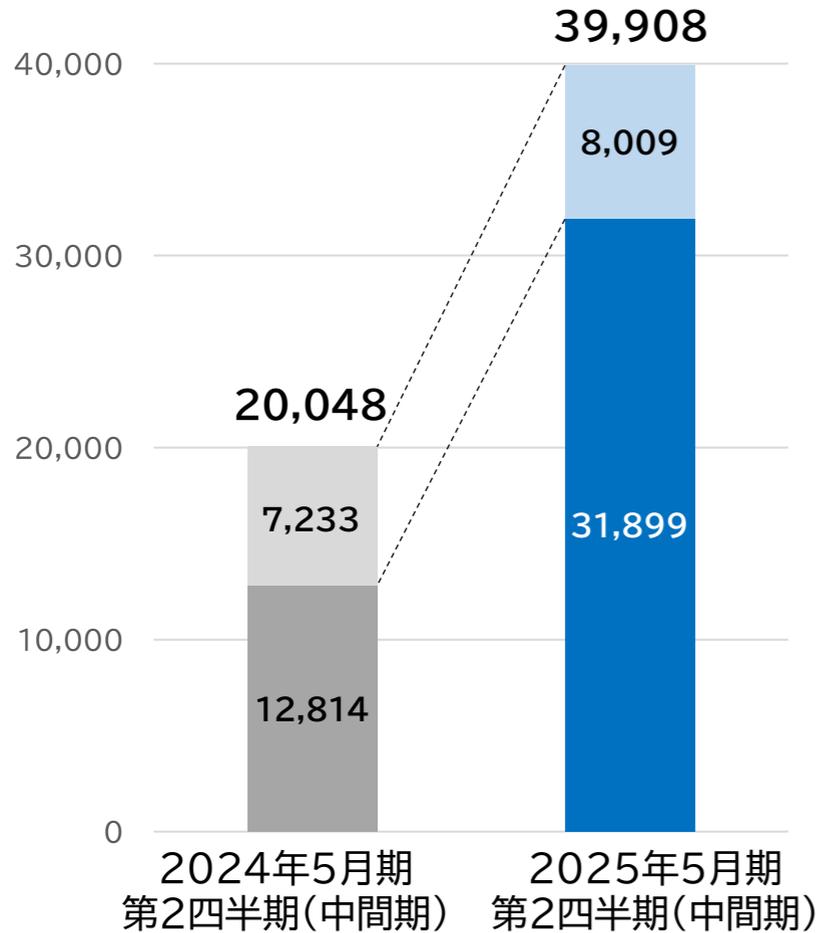


3 2025年5月期 第2四半期(中間期) 決算概要②

	2024年5月期 第2四半期(中間期)	2025年5月期 第2四半期(中間期)	前期比増減
1株当たり当期純利益	88.60円	90.18円	+1.58円
自己資本当期純利益率	5.2%	5.0%	△0.2%
総資産経常利益率	4.9%	3.3%	△1.6%
売上高営業利益率	4.7%	2.4%	△2.3%
総資産	21,592百万円	39,884百万円	+18,292百万円
純資産	14,056百万円	14,789百万円	+732百万円
自己資本比率	65.0%	37.0%	△28.0%
1株当たり純資産	1,762.69円	1,853.15円	+90.46円

4 2025年5月期 第2四半期(中間期) 決算概要③

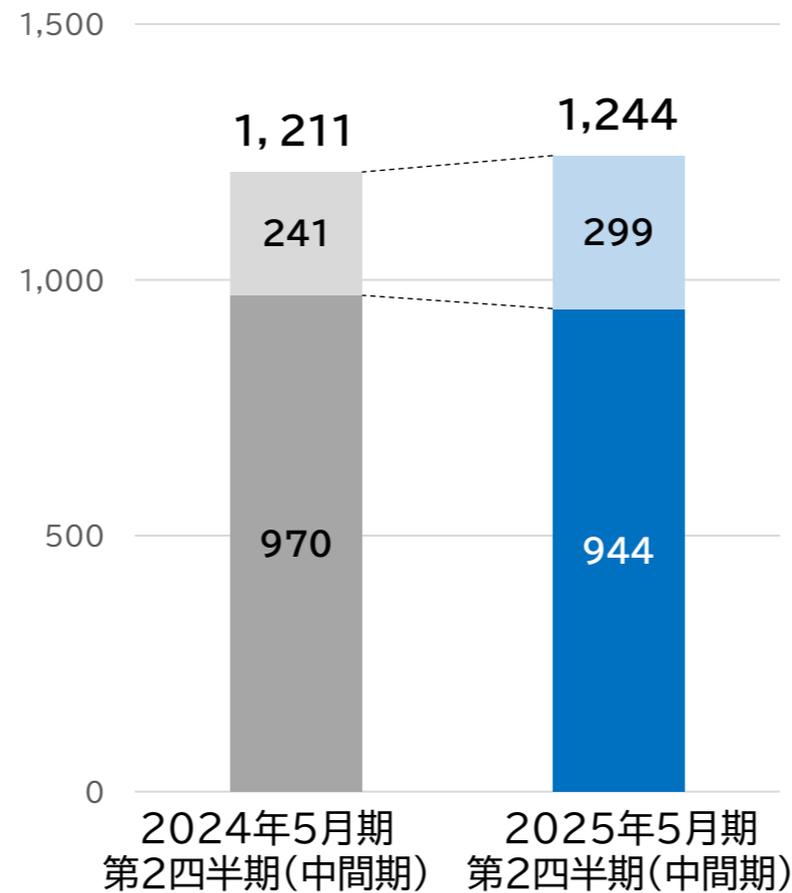
セグメント売上高 (単位:百万円)



売上高・海外

 売上高・国内

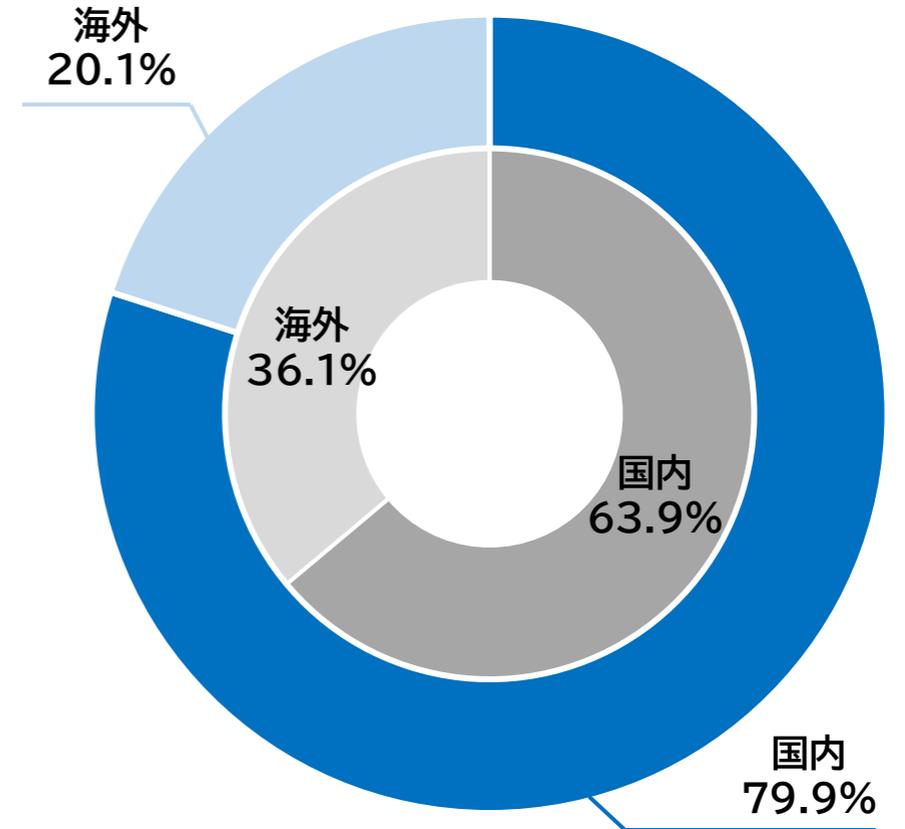
セグメント利益 (単位:百万円)



利益・海外

 利益・国内

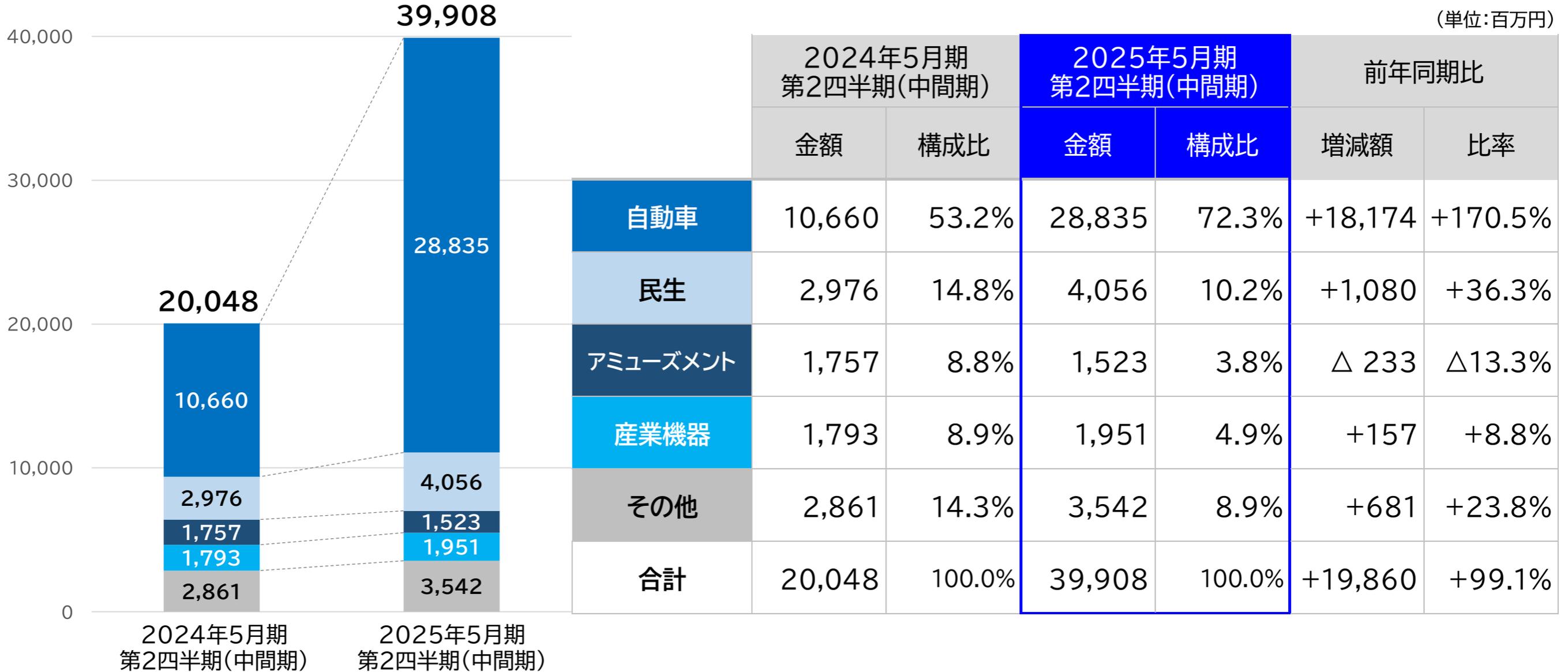
売上高 構成比率



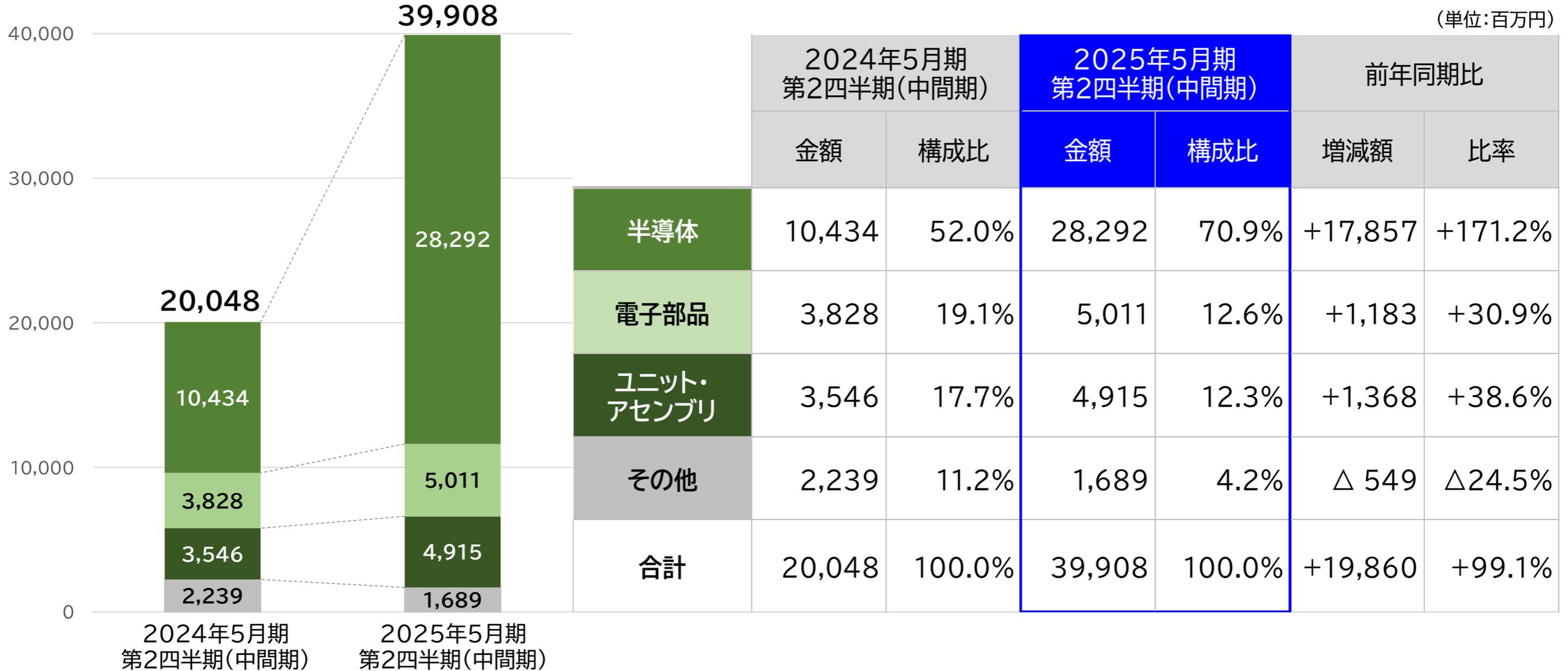
2025年5月期 第2四半期(中間期)

 2024年5月期 第2四半期(中間期)

分野別売上高(参考)



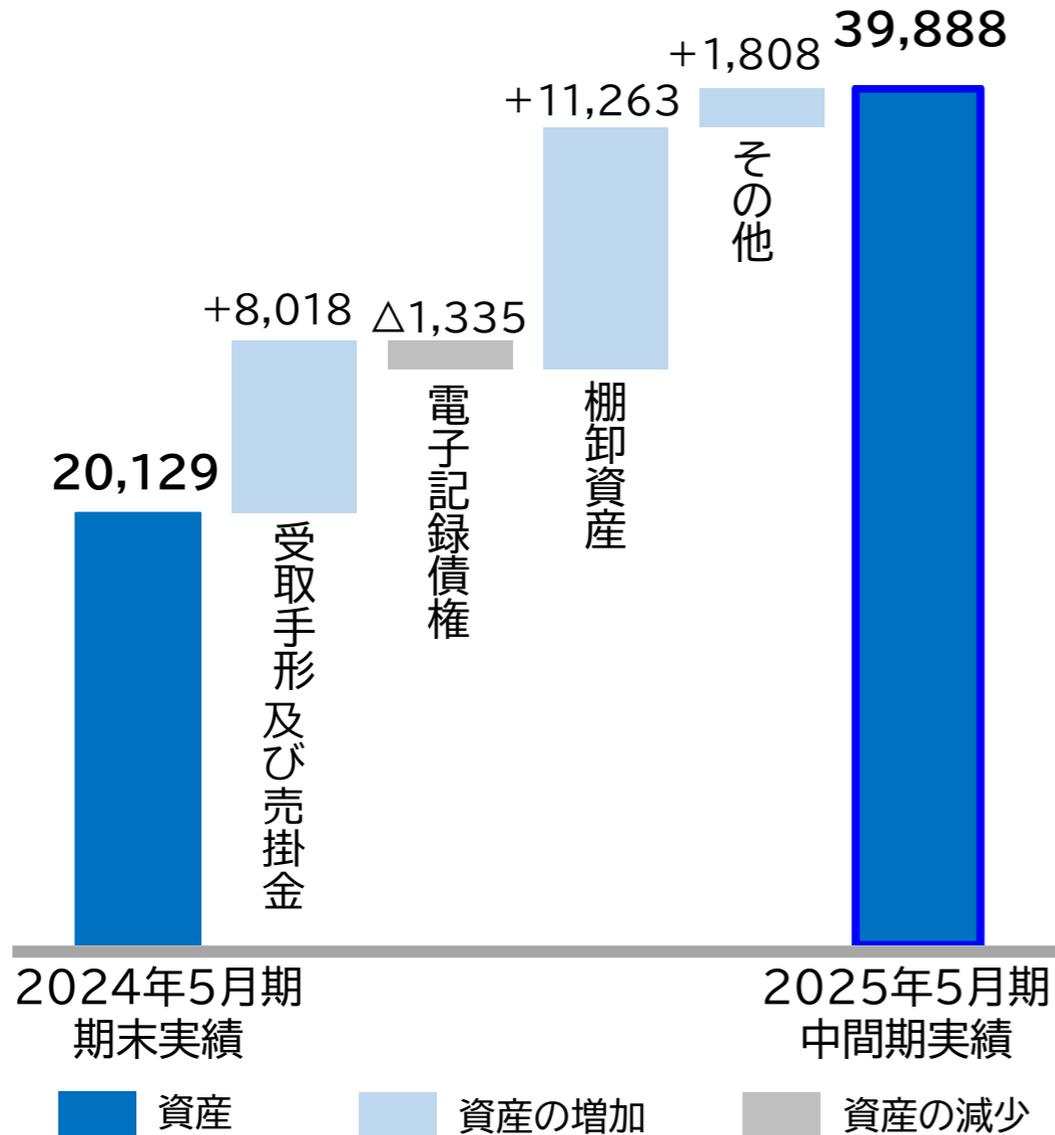
品目別売上高(参考)



7 2025年5月期 第2四半期(中間期) 貸借対照表の概要

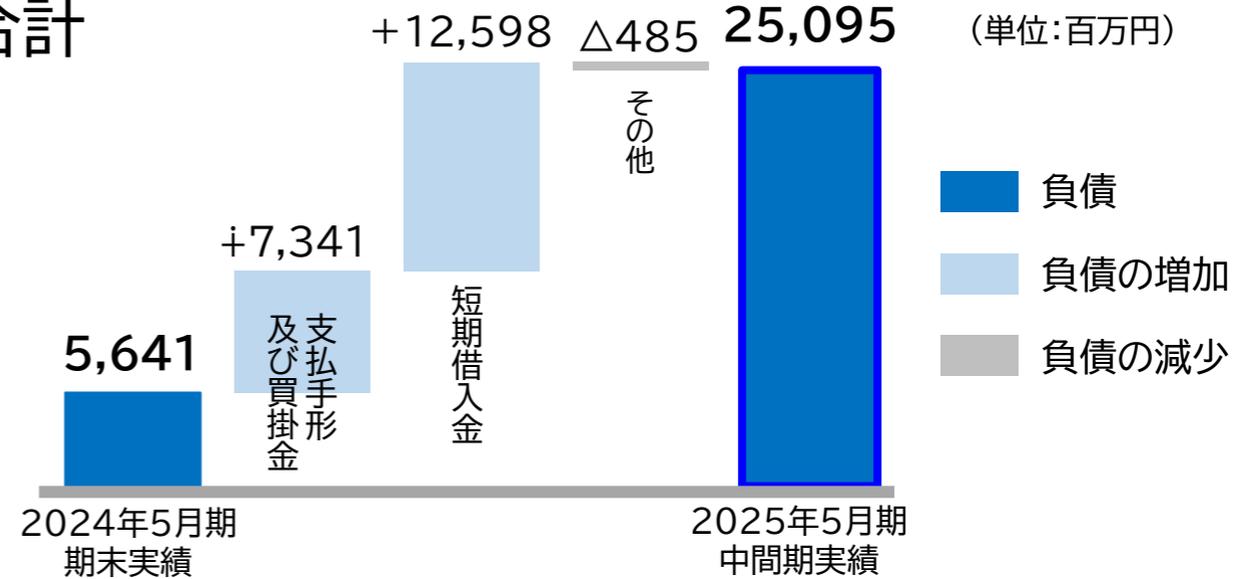
■ 資産合計

(単位:百万円)



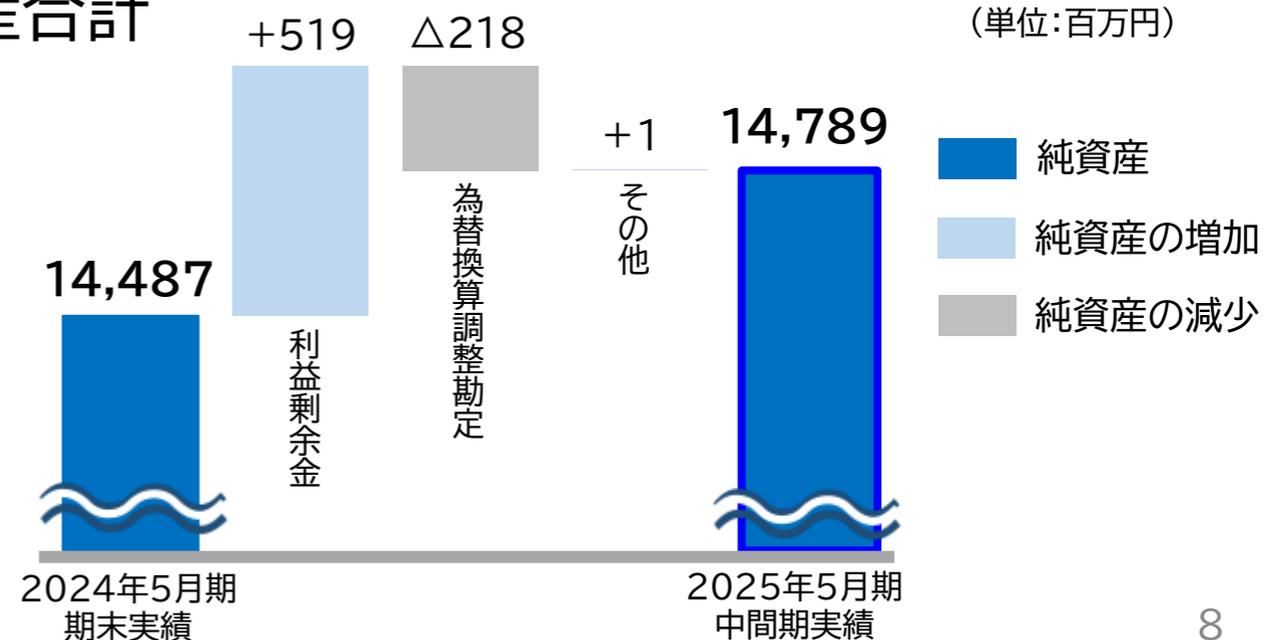
■ 負債合計

(単位:百万円)



■ 純資産合計

(単位:百万円)

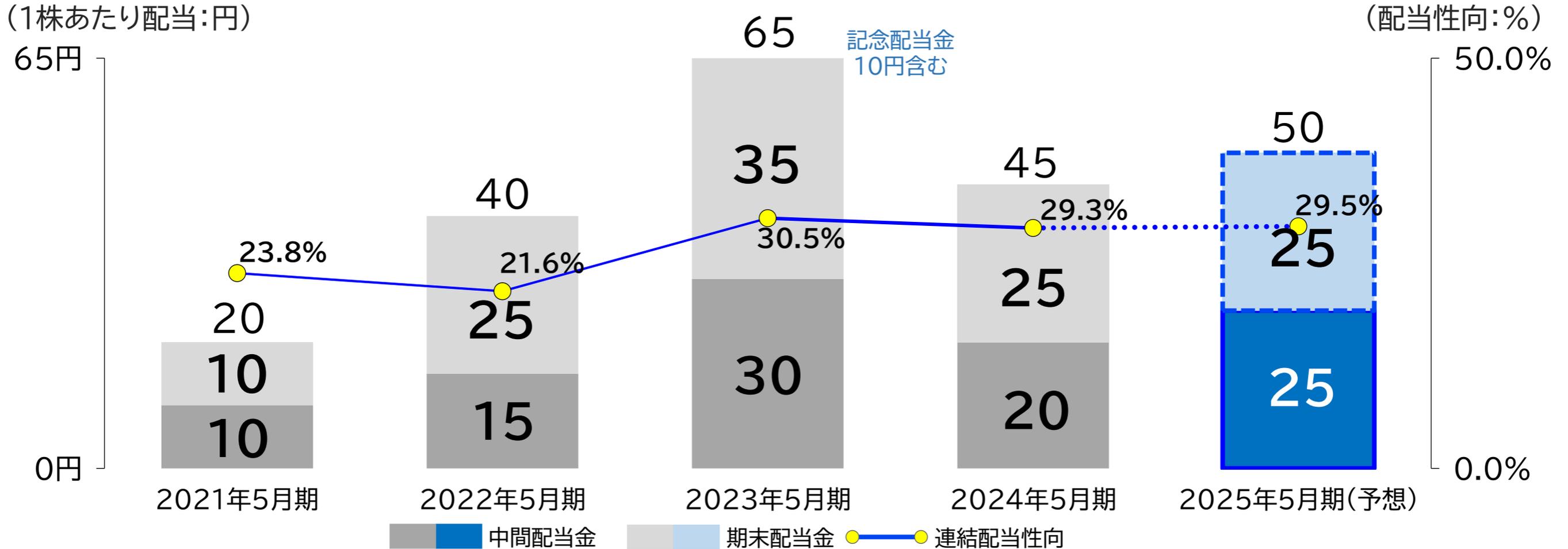


8 2025年5月期 第2四半期(中間期) キャッシュフロー計算書の概要

(単位:百万円)

	2024年5月期 第2四半期(中間期)	2025年5月期 第2四半期(中間期)	内 訳	
営業活動によるキャッシュ・フロー	△124	△11,621	売上債権の増減額(△は増加)	△6,807
			棚卸資産の増減額(△は増加)	△11,335
			仕入債務の増減額(△は減少)	7,483
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27	△82	有形固定資産の取得による支出	△35
			無形固定資産の取得による支出	△28
			敷金及び保証金の差入による支出	△37
財務活動によるキャッシュ・フロー	△561	12,303	短期借入金の純増減額(△は減少)	12,598
			配当金の支払額	△199
現金及び現金同等物の増減額	△613	500		
現金及び現金同等物の期末残高	3,320	3,593		

2025年5月期 年間配当金 1株につき50円(予想)



※2025年5月期の期末配当金につきましては、2025年8月に開催予定の第49期定時株主総会での決議を経て決定をする予定です。
 ※現時点の予定につき、今後さまざまな要因により、異なる結果となる可能性があります。

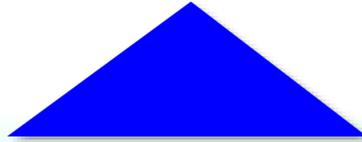
中期経営計画2026
(2024年度から2026年度)

<経営理念>

- 顧客第一主義
- 人間尊重
- 一流へのチャレンジ
- 創造的革新
- 企業の社会的貢献

<目指す姿> 

感動の架け橋



“New Stage”

中期経営計画2026

新中期経営計画 重点施策

<当社の精神>

- 三つ(お客様-当社-仕入先様)で立つ“ミタチ”
- お客様のお困りごとを解決しよう
- ミタチ“産業”の産業に込めた挑戦と発展

新たな収益基盤の創出
エレクトロニクスとデジタル技術をコアとした収益基盤の創出

“MONOもKOTOも”のスローガンのもとエレクトロニクスとデジタル技術をコアとした新たな価値提供により収益基盤の創出をすすめていきます。

基盤ビジネスの強化・拡大
対応レベル向上&領域拡大

基盤であるモビリティ・産業機器分野
民生・アミューズ分野において
機能、領域、拠点の強化を行い
売上と利益を拡大していきます。

健全な経営基盤の維持・強化
経営資本の最大活用、ガバナンスの維持・強化

経営理念の実践により培ってきた
経営資本の強化と、従業員・組織が
やりがいを持ち活躍できる環境をつくり
経営品質を高めていきます。

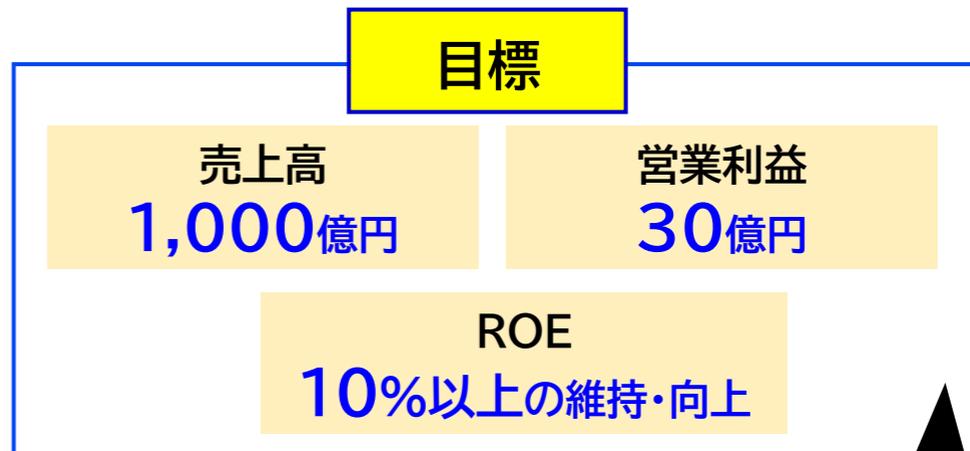
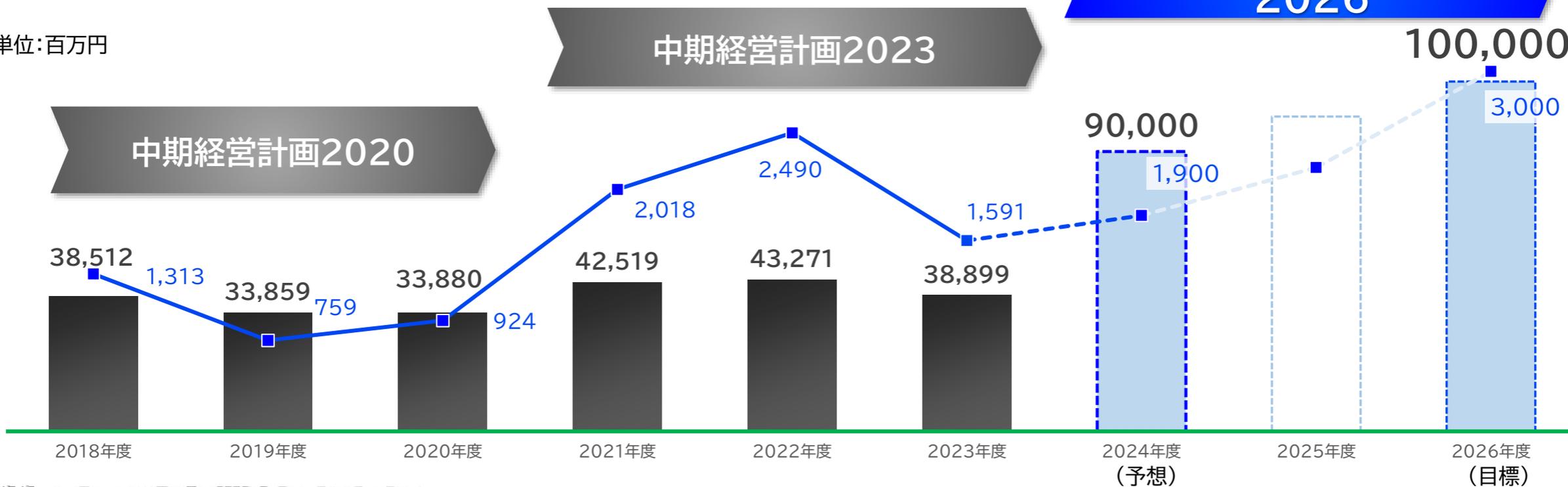
11 中期経営計画2026の経営目標

売上高・営業利益・ROE目標

既存ビジネスの強化、新たな収益基盤の拡大で事業成長を目指していきます

- 売上高(予想・目標)
- 売上高(実績)
- 営業利益(予想・目標)
- 営業利益(実績)

単位:百万円



New 中期経営計画 2026

1 商流移管による株式会社デンソーへの販売を開始

東芝デバイス & ストレージ株式会社のビジネスパートナーとして両社営業体制の強化に資する取り組みのなかで、株式会社デンソーに係る販売商流の移管を受け、当社からの半導体製品の販売を開始いたしました。



2 2025年1月14日 新本社(営業)を開所

2025年1月14日に本社(営業)は名古屋市中区平和一丁目のミタチ第2ビルから名古屋市中区金山一丁目のEME BUILDINGへ移転いたします。また、移転に伴い、旧本社(営業)と愛知県岡崎市の三河支店を新本社(営業)に統合いたします。
※本社(管理)は、現在地のミタチビルから変更ございません。



3 【名古屋】スマート工場EXPO2024に出展

【名古屋】スマート工場EXPO2024に出展をいたしました。人手不足解消をコンセプトに「若者離れ」「技能継承」「労働環境」「人件費増」という課題に対する様々なソリューションの展示を行いました。



4 名証IRエキスポ2024に出展

名証IRエキスポ2024に出展をいたしました。数多くの方が当社ブースにお立ち寄り頂き、当社からは事業概要やトピックス、株主還元方針などの説明を実施いたしました。



13 会社概要及び株式の状況

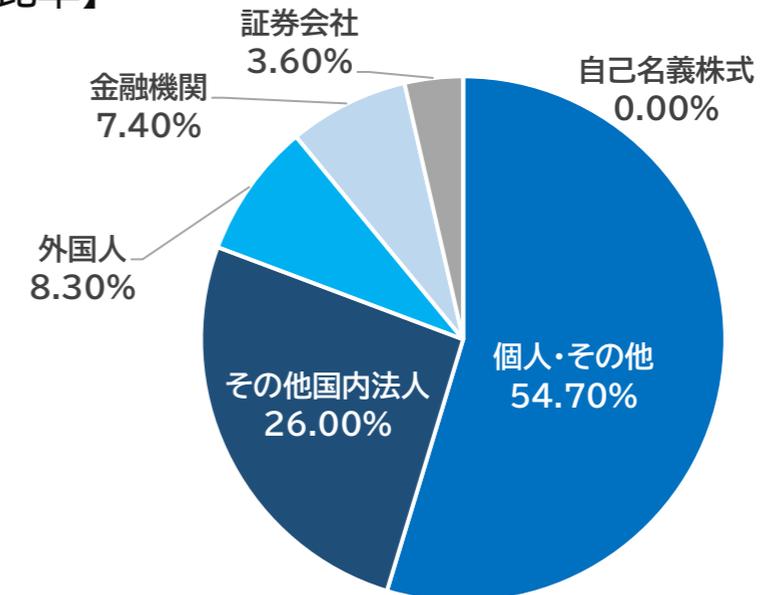
会社名 ミタチ産業株式会社
 MITACHI CO.,LTD.
創業 1972年9月
設立 1976年7月
本社 〒460-0026
 愛知県名古屋市中区伊勢山二丁目11番28号
資本金 8億4,559万7,909円
従業員 (連結)490名 ※ (※2024年5月31日現在)
 (単体)134名 ※ (※2024年5月31日現在)
役員 代表取締役社長 橘 和博
 専務取締役 奥村浩文
 取締役 田村 学
 取締役 野村慎一
 取締役(常勤監査等委員) 大島卓也
 社外取締役(監査等委員) 中浜明光
 社外取締役(監査等委員) 松岡正明
 社外取締役(監査等委員) 澁谷 歩

【大株主の状況】

2024年11月末時点

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社JU	1,844,800	23.15%
橘 和博	223,400	2.80%
株式会社三菱UFJ銀行	200,000	2.51%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	172,900	2.17%
INTERACTIVE BROKERS LLC	143,900	1.81%
工藤 雅之	128,500	1.61%
ミタチ産業従業員持株会	119,623	1.50%
野中 光夫	110,000	1.38%
株式会社大垣共立銀行	100,000	1.25%
平野 和子	92,500	1.16%

【構成比率】



経営理念

顧客第一主義

満足を得た顧客こそビジネス最大の源泉。
お客様の満足が自社の繁栄につながっている経営を行う。

人間尊重

従業員が会社の宝であり財産。
お互いに自己を尊重すると同時にあらゆる他人をも尊重する。

一流へのチャレンジ

開かれた近代経営を行い、永遠の企業発展を目指す。

創造的革新

現状に満足せず、常に問題意識をもって自己を厳しく見つめ、
絶え間ない変革を遂げていく。

企業の社会的貢献

ボランティア、メセナ等で社会に貢献していくことは必要であるが、当社において最も大切な貢献は、毎期利益をあげて税金を納め続けること。そして、社会のルールを守り他人に迷惑を掛けない事業を行うこと。

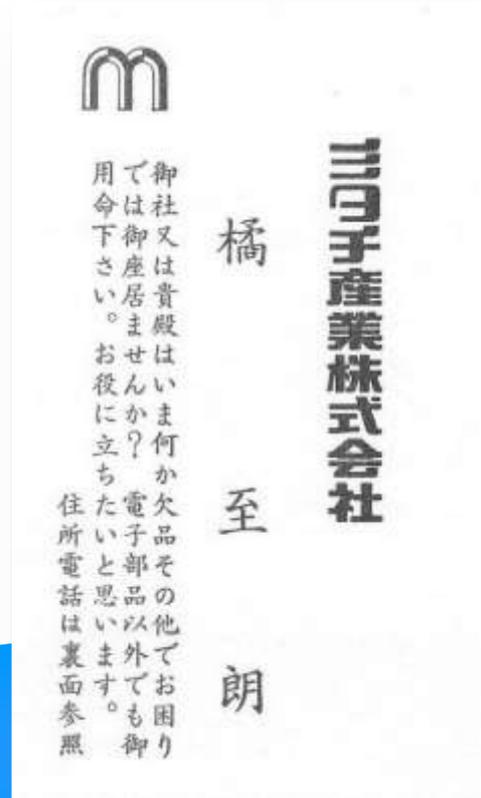
原点・原動力

「お客様のお困りごとを解決しよう！」

という熱き思いがミタチ産業の原点・原動力です。

ミタチ産業の「**産業**」は、お客様への貢献を目的としたあらたな産業への挑戦により、継続的な企業発展を目指していくという意志が込められています。

創業当時の名刺





お客様

当社

仕入先様

ミタチ産業の社名は三つで成り立つ

(お客様-当社-仕入先様)

という三位一体の精神に由来しております。



ローマ帝国時代に生命をつなぐ水を運ぶ大切な使命を果たした「ガールの水道橋」。2000年の時を超えて往時の卓越した技術力を今に伝えるこの橋をモチーフに当社のシンボルマークは生まれました。そこには「いつまでもお客様と仕入れ先様をつなぐ架け橋でありたい」という想いが込められております。

半導体・電子部品 (電子デバイス)

個別半導体からシステムLSI、メモリ、液晶、電子部品、基板、モジュールの販売、多種多様な商品をワンストップでご提供

設備・副資材

表面実装機、印刷機、リフロー槽をはじめとする電子部品実装ライン、検査機、専用自動機、消耗材や副資材等を販売

EMS

自社工場をはじめ国内、海外を問わず基板のアッセンブリからユニット、製品の組立まで対応
EMS: Electronic manufacturing services
電子機器受託製造サービス

組込製品

海外CPUボード、パネルユニットを数多く取扱い、様々な分野向けの標準品、カスタム仕様品の対応が可能

設計開発

回路設計、筐体設計、ソフトウェア設計、製品デザインなど、商品・製品の開発におけるトータルでのサービスに対応

IoT/DX

自社オリジナルのIoTプラットフォームmiotシリーズなど、様々なお客様の課題をデジタルの技術で解決

本社(管理) 第2ビル(営業・技術開発)

愛知県名古屋市中区

2025年
1月14日開所



上海 Shanghai

敏拓吉電子(上海)有限公司



香港 Hong Kong

美達奇(香港)有限公司



深圳 Shenzhen

美達奇電子(深圳)有限公司



タイ Thailand

MITACHI (THAILAND) CO.,LTD.



マレーシア Malaysia

MITACHI INTERNATIONAL (MALAYSIA) SDN. BHD.



三河支店

浜松支店

東京支店
MEテック

物流センター



アメリカ合衆国 ミシガン

MITACHI AMERICA,INC.

台湾 Taiwan

台湾美達旗股份有限公司



フィリピン Philippines

M.A. TECHNOLOGY, INC.



インドネシア Indonesia

PT. MITACHI INDONESIA



国内拠点数: 6 海外拠点数: 9

SDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ミタチ産業経営理念

顧客第一主義

一流へのチャレンジ

企業の社会的貢献

人間尊重

創造的革新

ESG経営

Environment 環境

- ・環境方針の確立、ISO14001の認証取得
- ・省電力の半導体や電子部品、ICTを活用した資源利用の効率化
- ・在庫の適正化で廃棄物ロスの最少化を推進



Social 社会

- ・品質方針の確立、ISO9001の認証取得
- ・働き方改革、健康経営の推進
- ・従業員の能力開発、ダイバーシティの推進
- ・ソリューションやサービスを通じた社会課題への対応
- ・セーフティードライブ活動やエコキャップ運動への参加



Governance ガバナンス

- ・コーポレート・ガバナンスの維持・向上
- ・リスクマネジメントの強化
- ・コンプライアンスの徹底



当社の持続的な成長

持続可能な社会の実現



◆将来予想について

本資料における業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報および、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、潜在的なリスクや不確実性が含まれ、その実現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績等は様々な要因により異なることがあります。

また法令等で別途定めがある場合を除き、当社はいかなる将来の見通しも最新のものとする義務を負いません。

IR資料室

ホームページ

お問い合わせに関する窓口



 **三ツ子産業株式会社**

経営企画室

TEL : 052-332-2596

HP <https://www.mitachi.co.jp>